

防商発第 199 号
2015 年 9 月 8 日

日本貨物鉄道株式会社
代表取締役会長 石田 忠正 様
代表取締役社長 田村 修二 様

防府商工会議所
会 頭 喜多村 誠
交通運輸部会長 溝田 浩司

防府貨物オフレールステーション存続について（要望）

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当商工会議所の運営に関しまして、格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。当所は防府地区の地域総合経済団体として会員企業とともに地域経済発展に寄与しております。

さて今般、貴社より防府貨物オフレールステーションを廃止するという情報に接し、甚だ困惑しているところであります。

当エリアはマツダ防府工場、ブリヂストン防府工場を始め多くの日本を代表する製造業が集積し、当該オフレールステーションではこうした企業に関連した大型コンテナを日量で40～50台取り扱っており、本市の重要な物流拠点となっております。

また、現在、行政が中心となってJT工場跡地に防府テクノタウンを開発し、大型企業誘致を行う中で、本ターミナルの存在は誘致における重要なファクターにもなっています。

国は地方創生に向け動き出しています。防府市もまち・ひと・しごとの好循環をめざし、企業や産業における「稼ぐ力」の向上、地域企業の経営体制の改善、人材確保、地域全体のマネジメント力の向上等を図るために、管内にあります既存の重要拠点のさらなる活用を考えているところでもあります。

つきましては、民営化後も公的な影響力が大きく、日本全国の物流インフラを担われていることから、防府貨物オフレールステーションの存続に向けて、検討を図られ、貴社の関係先とも十分な協議を行うようお願いいたします。

敬 具